

2022 年 4 月

SoC1296

Potential Impacts of Russia's Invasion of Ukraine

By Katerie Whitman (Send us [feedback](#))

ロシアによるウクライナ侵攻の潜在的影響

ロシアによるウクライナ侵攻はロシアと西側諸国の関係を劇的に悪化させた。米国、EU 諸国、日本、韓国、オーストラリア、その他の主要経済国はロシアに対して前例のない厳しい制裁を課し、主要な多国籍企業はロシアでの事業を停止した。ロシアが西側諸国から孤立したことは深い意味を持つ。食料、化石燃料、重要な肥料原料およびその他重要な商品の主要な世界的供給者としてのロシアの役割は、制裁の持続性や中国とロシアの関係などの要因によって、今後数年間で根本的に変化する可能性がある。ロシアの世界貿易システムからの突然で深刻な分離は、脱グローバル化の傾向を加速させ、再生可能エネルギーへの移行を早める可能性がある。

ロシアのウクライナ侵攻以前から、ロシアと西側諸国の関係は既に長年にわたる緊張にさらされていた。ロシアは多くの西側諸国において、サイバー攻撃、組織的な偽情報キャンペーン、政治的干渉をめぐる問題などの主要な発生源となってきた。多くのアナリストは、ロシアの行動は西側諸国の政治的、社会的分裂を増幅させ、民主的統治に対する脅威を高め、西側諸国間の国際協力を弱体化する一因となったと主張した。ロシアと西側の摩擦にもかかわらず、ヨーロッパ諸国はロシアのエネルギーや商品の輸出、特に天然ガスに依存するようになり、ロシアは多国籍企業にとって重要な市場となっている。

ウクライナ侵攻に対して西側諸国とその同盟国がロシアに課した経済制裁は例外的に厳しく、制裁を発動している国々に長期的なシステムリスクをもたらすほどである。例えば、米国、日本、欧州連合(EU)

の政府はロシア中央銀行の外貨準備へのアクセスを遮断したが、こうした前例のない措置は、外貨準備を保有することの価値に対する世界的な信頼を損なうリスクをとまう。同様に、西側諸国政府からの圧力に応じて、SWIFT (Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunication) は一部のロシアの銀行を SWIFT 金融メッセージングシステムから除外するにいたった。ロシアの銀行をシステムから除外することは、中国が運用する競合システムの魅力を高め、徐々に生じている中国と西側勢力圏の世界的な分断を増大させる可能性がある。

ロシアの世界貿易システムからの突然の分離は、脱グローバル化の傾向を加速させる。

ロシアで事業を展開する多くの西側企業も、制裁に反するリスクを最小限に抑えるために、あるいはロシアからの撤退を求める非常に大きな世論に押されて、ロシアでの事業を停止している。世界の大手消費者ブランド、金融保険会社、重機メーカー、デジタルサービスプロバイダー、海運会社、その他多くの企業がロシア市場での事業を停止しているが、これに対しロシアは同国での事業を停止した企業の資産を国有化する動きを見せた。事態がもたらす不利益は、ロシアに壊滅的な影響を与える可能性がある。例えば、大手海運会社の撤退は、たとえ制裁に参加していない国との取引においても、ロシアの国際的取引に必要な体力を著しく低下させた。主要な国際的再保険会社の撤退は、ロシアの保険会社の事業運営コストを非常に高額にしている。また、半導体チップに対する制裁は、高度な人工知能、兵器、ロボット工学、および同様の技術を開発するロシアの能力を大幅に制限している。

西側の対ロシア経済制裁の影響はロシア以外にも大きく広がっている。即時的な影響の 1 つは、ドイツが再生可能エネルギーへの移行計画を加速させ、ロシアの天然ガス輸入への依存度を早急に低めようとしていることである。米国を含む他の国々も同様に、再生可能エネルギーへの取り組みを強化している。長期的にはグリーン水素などの化石燃料の代替品は、鉄鋼や肥料生産における天然ガスや一部の電力や輸送用途の化石燃料に取って代わる可能性があり、ロシアと西側の分断から大きな恩恵を受ける可能性がある。同様に、先進農業技術は、世界の工業型農業におけるロシアの原材料投入に代わる手段の必要性から恩恵を受ける可能性がある。

ウクライナでのロシアの行動はまた、ヨーロッパ諸国の軍事支出を増大させ、軍事協力のレベルを深め、ヨーロッパにおける長年にわたる軍事化の後退傾向を反転させた。ロシアの行動は米国、ヨーロッパ、そして潜在的に世界中の他の国々における自由民主主義への支持を再活性化し、世紀の変わり目以降続いている傾向を逆転させる可能性があるとアナリストは推測する。

西側諸国は当面厳しい制裁を継続する可能性が高いが、各国はいくつかの制裁を実施する中で継続的な困難を抱えることになり、制裁の対象から除外する化石燃料やその他の重要な商品の範囲を拡大する可能性が高い。ロシアが進めている中国、インド、アフリカや中東諸国との貿易を強化しようとする取り組みは、現実的な制約のために極めて緩慢に進む可能性が高い。しかし、将来は不確実であり、状況の変化は別の結果を引き起こす可能性がある。ロシアと西側の関係の将来を変化させる可能性のある事象の例を以下に示す。

◆ ロシアの指導部あるいは外交政策における大きな変化

ロシアの指導部が変化しても、経済制裁の即時停止と西側との関係正常化をもたらす可能性は低い。しかし理論的には、劇的な変化があれば、西側諸国がロシアの世界経済システムへの復帰を歓迎する可能性がある。

◆ 中国とロシアの連携

中国は、ロシアとの強い結びつきを深めたいという願望と、西側諸国との良好な経済関係を維持する必要性とのバランスを取ろうとしてきた。中国がどの程度そのバランスを取ることになるかは非常に不確実であり、起こり得る状況は数多くある。例えば、中国はロシアから離れて西側諸国との関係を深める道を選択する可能性も、西側の経済大国と競合する勢力圏を拡大する手段としてロシアとより深く連携する可能性もある。

◆ 敵対行為の深刻な拡大

ロシア当局は、西側諸国に対して核兵器を使用すると脅すなど、繰り返しウクライナ紛争の深刻な激化という脅威をもたらしてきた。軍事アナリストはおおかた、このような脅しには信ぴょう性があると考えている。しかし、ロシアは他の方法で敵対行為を拡大させる可能性もあり、継続する軍事活動は偶発的な敵対行為の拡大をもたらす実質的なリスクを高める。

◆ 食料、エネルギー、商品の危機

ロシア・ウクライナ戦争は、小麦、肥料、肥料原料、エネルギー供給、その他多くの重要な商品の世界的な供給に大きな混乱をもたらし、富裕国のインフレを加速させ、貧困国の生活を脅かした。結果として生じる影響の深刻さが、より早い時期に西側諸国の制裁緩和を促す可能性がある。

SoC1296

本トピックスに関連する Signals of Change

SoC1272 化石燃料がもたらす混乱

SoC1257 供給の不足

SoC1177 隔絶型IoT、スプリンターネット、オンライン...

関連する Patterns

P1760 チップ戦争

P1705 新しいエネルギー危機

P1549 米中の影響が及ぶ範囲